

お詫び)「非血縁者間骨髄移植の現況」および「非血縁者間骨髄移植・採取件数一覧表」はデータの見直しをかけているため、10月号ではお伝えできません。ご了承ください。

日本骨髄バンクの現状(2003年9月末現在)

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,742	1,916	175,430	221,025
患者登録者数	172	141	2,283	14,969
骨髄移植例数	56	60	-	5,116

注)数値は速報値のため
訂正されることがあります。

1 10月は骨髄バンク推進月間、皆さまのご協力をお願いします

今月は国の定める「骨髄バンク推進月間」です。急な月間の変更にもかかわらず、行政、日赤、ボランティアを初め関係者の皆様のご協力により、今月の登録会は各地で130回が予定されています。政府広報をはじめとして、各地方自治体の持つ媒体での広報などにより、ドナー登録拡大と問合せ件数の増加が期待されています。今月は特に、学園祭や秋のイベントをからめた献血併行型登録会が多く見られます。先月号でお知らせしたドナー登録説明用のビデオの改訂版は、編集は終了していますが、諸事情により皆様への配布が遅れております。来月には、各登録機関、関係者へお届けできる予定です。

2 全国大会を開催。骨髄バンクにかける皆さんの思いが伝わりました

9月28日(日)、早稲田大学大隈講堂にて移植5,000例到達記念「骨髄バンク推進全国大会」を開催しました。5,000例の主役である移植を受けた患者さん、ドナーの皆様をはじめ450名余りの方々にご参加いただき、第一部の式典、5,000例の軌跡報告と感謝状贈呈、第二部では、菊間千乃氏と横山秀夫氏の対談、骨髄バンクに係わった方々の「あの時」を語っていただきました。予定していた対面は中止となりましたが、財団にプロジェクトチームを設置し、引き続き実施に向け検討を進めてまいります。また、会場で披露させていただいた全国の患者さん、ドナーの方から寄せられたメッセージも、バンクニュースなどで紹介させていただく予定です。

3 ドナー登録状況。集団登録会の定期開催が進む。登録数は前年比17%UP

9月のドナー登録者数は1,916人、取消者数は504人、実質増加数は1,412人で前年同月の登録者数の117%と全体では前年実績を上回りました。登録会は72回実施され(うち献血併行型は60回)合計816人の方にご登録をいただきました。

登録会の傾向は献血併行が中心で、沖縄では一回で43人の登録会をはじめ8回の登録会で120人の登録があり、岡山のJ A倉敷では34人、茨城では開催した3回とも20人を超える登録会となりました。集団登録会は定期開催の傾向がみられ、岡山県倉敷市のスーパーマーケットでは年に数回の開催で毎回50名近くの登録者を集めており、今回も48人という実績をあげています。愛媛では例年開催される松山のコミュニティーセンターで53人の登録者があつたほか、20人規模の登録会が各地で開催されました。

4 ホセ・カレーラスのコンサート / 「明日への扉」が各地で再び

白血病から世紀の復活を遂げたカレーラス氏の歌声を、今年も中外製薬様の特別協賛により全国のファンの皆様へお届けすることとなりました。チャリティーコンサートは、10月23日の大阪公演を皮切りに、名古屋、横浜、東京、札幌で開催。会場の募金と中外製薬様からのご寄付が、ホセ・カレーラス白血病財団と当財団に寄付されます。「明日への扉」は、スターを目指す女の子が、オーディションを目前に、主役の座とドナーの立場で思い悩む姿をエネルギーに描いたミュージカル。学校法人滋慶学園の学生が企画・制作・出演するこの作品は、毎年演出に変化があり、そのたび感動を得る作品となっています。チケットは一般3,000円、高校生以下無料。開催場所等は <http://www.asuenotobira.jp/> をご覧ください。

5 HLA 確認検査方法が「直接塩基配列決定法」(PCR - SBT) 化へ

登録患者と適合ドナー候補者のHLA確認検査方法が10月27日採血分から変更となります。現在、HLA-DNA検査方法はPCR-MPH法及びPCR-SSCP法で実施していますが、当財団と日本赤十字社で検討を重ねた結果、従来よりも検査期間が短縮されること、より正確なことからPCR-SBT法(直接塩基配列決定法)へ変更することになりました。対象抗原はHLA-A座、HLA-B座(A2, A26, B15, B39, B40, B61, B62, B75, B60のホモ)およびDR座です。検査費用の変更はありません。若干のコーディネート期間短縮につながることを期待されます。

6 国際協力の現状・骨髄バンクを介して2回提供された方・DLI実施状況

国際協力事業の状況

		2003年7月～9月			～2003年9月末	
海外ドナーから国内患者への骨髄移植		登録患者数	適合患者数*	コーディネート数	移植数	累計移植数
日本	NMDP(米国)	7	3	10	2	94
	BTCSCC(台湾)	8	5	8	0	18
	KMDP(韓国)	8	3	5	0	11
計		23	11	23	2	123
国内ドナーの海外患者への骨髄提供		登録患者数	適合患者数	コーディネート数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)	31	7	10	0	4
	BTCSCC(台湾)	0	0	1	0	0
	KMDP(韓国)	82	50	58	5	82
	その他の国**				2	14
計		113	57	69	7	100

*1人でも適合したドナーが見つかった患者数

**その他国は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ1件、ベルギー1件

骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 115人
DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 72件

7 委員会開催予定 場所が廣瀬第2ビルから廣瀬第1ビルに変更しています

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

	公開・非公開	開催予定
データ・試料管理委員会	公開	10/25(土) 13:30～15:00(廣瀬第1ビル2階会議室)
常任理事会	公開	10/25(土) 16:00～18:00(廣瀬第1ビル2階会議室)
普及広報委員会	公開	10/28(火) 18:00～21:00(廣瀬第1ビル4階会議室)